



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.791 2026.7.1

日本共産党北区議員団

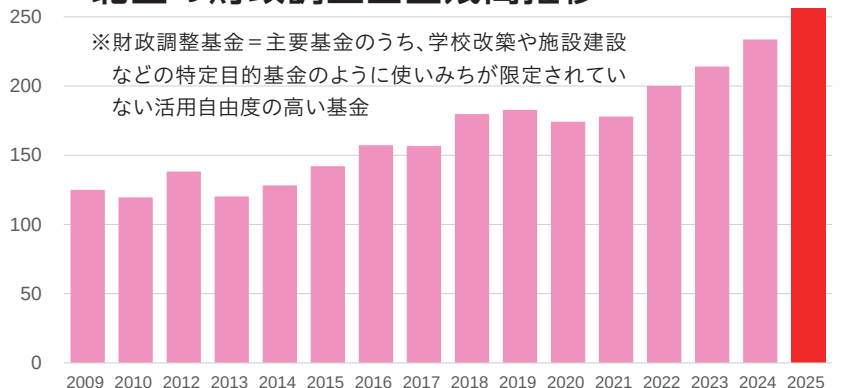
〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

暮らしの支援に活用できる **財政調整基金** の残高

過去最高の**256億円**に

北区の財政調整基金残高推移



北区の財政規模は年々大きくなっていますが、区はその伸び以上に積立金を増やし、暮らしや営業の支援に活用できる財政調整基金は、25年度末に過去最高の256億円に達しています。(のの山けん)

15年前には125億円ほどだった財政調整基金は、22年に200億円を突破。その後も増え続けて、出納閉鎖で確定した25年度末の残額は256億円に。174億円にまで減るとの当初予算の見込みを82億円も上回る結果となりました。

積みあがった基金は 暮らし応援に活用を

北区はこの間、コロナ禍でも物価高騰でも、財政調整基金を積み増してきました。日本共産党区議団は、毎年の北区予算案に対し組み換え動議を提出し、財政調整基金の一部を活用して区民の暮らしや中小事業者の営業の支援を行うよう求めてきました。

これを受けて区は昨年度、区民への生活支援金に財調基金を投入し、支給額を一人5000円に引き上げましたが、今年度はなお基金残高が増加しました。さらに思い切った活用が必要です。



赤羽駅東口で区政報告をする、のの山区議

国の交付金活用し、暮らし支援を

北区議会第2回定例会最終本会議で、国の物価高騰対策重点支援地方創成臨時交付金（推奨事業メニュー）を活用した高齢者・障害者・子育て施設などへの支援金の給付を決定しました。私は企画総務委員会で、この事業に約2900万円を活用するものの、国からの交付金総額は約6500万円であり、「残りの約3600万円も速やかに暮らし支援に活用すべき」と提案しました。(のの山けん)

王子駅前のまちづくり 50階もの超高層、なぜ?

王子駅前まちづくりの先行実施地区では、飛鳥山を見下ろすような民間事業者による190メートル・50階ツインタワーの計画に対し、多くの区民から、「なぜこんなに高いタワーマンションが建つか」という疑問の声が上がっています。

再開発等促進区で容積率を1000%に

本来ならば、王子駅前の区域は用途地域指定で容積率500%と定められており、50階の建築物は建てることはできません。ところが今回は、北区が「再開発等促進区」という地区計画の認可を東京都から受けることが前提の計画となっており、この制度を活用すれば、容積率が2倍の1000%に緩和されることになるのです。

再開発等促進区は、それまで別々に存在していた「再開発地区計画」と「住宅地高

開発事業者の利潤を最大限に保障する規制緩和

度利用地区計画」を統合し、2002年に創設された制度ですが、容積率を緩和し、開発事業者の利潤を最大限に保障する手法として活用されてきました。

“公共の福祉”に値しない超高層建築

区は容積率の緩和を「公共貢献の見返り」といいますが、1戸1億円以上もする分譲住宅は手にできる人が限られ、公共の福祉に値しないことは明らかです。北区は開発事業者の利益優先ではなく、住民のためのまちづくりに立ち帰るべきです。(の山けん)



北区発行の「王子PRESS」よりイメージ図

再開発等促進区とは

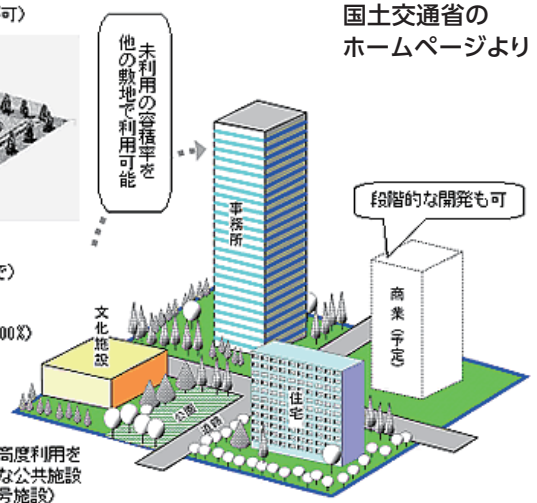
再開発等促進区とは、まとまった駅前の土地や工場跡地などで、計画的な土地利用転換と高度利用をはかる都市計画制度のひとつ。

北区などの自治体が地区計画を定め、東京都が都市計画として認可すれば、民間の開発事業者に対し、道路や公園などの整備と引き換えに、建物の容積率や用途制限を大幅に緩和することができる仕組みです。

【前】工業専用地域・200%
(原則、住宅、商業施設等は不可)



【後】(工業専用地域・200%のままで)
・住宅・商業施設も建築可能
・容積率の割増も可能
(例: 200%→500%)



国土交通省のホームページより

土地の有効・高度利用を図るため必要な公共施設(いわゆる2号施設)

王子駅前まちづくりを考えるつどい

主催/日本共産党北区議員団 お問合せは☎090-2156-3510(のの山)まで

7月5日(日)10:00より
北とぴあ802会議室